

2022 年度 Space Designer 検定試験 総評

今年のテーマは、クラシックスタイルの高齢者施設ラウンジスペースのインテリアです。採点するにあたっては、作品がこのテーマをいかに消化できているかがポイントになります。受験者のパースにおける表現力の向上は、毎年目覚ましいものがあります。パースの出来が素晴らしい一方で、提案書においては精彩がないものが目立ちました。インテリアをクラシックに統一するだけでなく、提案書もクラシックにまとめることが基本です。協会から提供されている教材で、提案書の作り方を再確認されることをお勧めします。

基礎課題について

廻り縁など装飾部分のモデリングが複雑になり、過去の問題に比べて難易度が高くなりました。実際、基礎課題が提出できなかった方が、例年に比べ多かったように感じられます。使用するソフトによっては機能に限界があり、苦勞されたのではないのでしょうか。このような課題では、厳密に作り込もうとすると過大な労力が必要になるので、ディテールを簡略化して、それらしく見せる工夫も必要です。

作品の提出にあたっては、提供された問題に対して勘違いや食い違いがないか、もう一度よくチェックしてください。

応用課題について

提案書に必要とされる基本的な要素が満たされていないものが目立ちました。説得力のある提案書に仕上げるには、テーマにあったフォントの選択が重要です。色彩計画は当然ですが、使用したエレメント、計画内容を表現したイメージ写真などの要素を盛り込む必要があります。レイアウトは余白を意識して、全体に変化をつけながらも整然と仕上げます。

パースに関しては、全体を見せるもの、工夫した点を説明するもの、ディテールを表現するものなどそれぞれに役割を与え、画像の大きさに変化を持たせつつ、説明文は具体的かつ簡潔に添える必要があります。

点景人物は、高齢者施設をテーマにしている以上、若者ばかりを配置するのは考えものです。表現はあくまでインテリアが主役であるべきなので、あまりリアルな人物よりもシルエットなどで軽く表現した方がよいでしょう。

英文を使う場合はスペルチェックも忘れないで欲しい。提出形式が条件にあっているか、データ形式やデータ量に問題がないか確認を怠らないようにしてください。

受賞作品について

金賞の作品は、テーマをよく理解し、高齢者施設のラウンジにふさわしい穏やかな雰囲気、質の高いインテリアに仕上がっていました。パースだけでなく提案書もクラシックスタイルに統一できていました。銀賞の作品は、迫力のあるゴージャスなパースに圧倒されまし

た。光や人物の表現も素晴らしい出来栄です。金賞、銀賞の作品とも提案書にインテリア
エレメントやディテールの要素が不足していました。銅賞の作品は、それらの提案書に必要
なすべての要素が網羅され、完成度の高さが評価されました。

今回は難しいテーマに関わらず、質の高い作品が多いのに驚かされました。これを機にモ
ダンなものだけでなく、ディテールの凝った複雑なインテリアも表現できる力を養ってく
ださい。